

レイカディア大学同窓会  
会員各位

第30回滋賀県レイカディア大学同窓会本部定期総会ダイジェスト版兼議事録

作成：本部事務局、湖東支部

開催日時：平成30年5月16日（水）13時～14時30分

開催場所：県立長寿センターレイカディア大学草津校大教室

出席者数：104名

I. 式次第と概要

司会進行：福島将夫（湖東支部）

- 1) 開会のことば 司会者
- 2) 物故者への黙祷 平成29年度に亡くなられた同窓会員（24名）に対し黙祷
- 3) レイカディア賛歌斉唱
- 4) 会長挨拶 堀江会長
- 5) 長寿者慶祝 堀江会長より祝詞と祝い品が手渡された。

（白寿、米寿慶祝者24名中10名が出席）

6) 来賓祝辞

◇竹元豊一様（滋賀県健康医療福祉部 医療福祉推進課 参事）

知事の祝辞代読・・・昨年度健康寿命全国1位…皆様方の精力的な活動が元である。「健康滋賀」の取り組みを進めている。これからも皆さんの豊富な知識と経験を生かし健康で生きがいを以て地域のリーダーとして力添えをお願いします。

◇西川政宏様（滋賀県社会福祉協議会 レイカディア振興担当課長）

学長に代わり挨拶・・・日頃の活動に感謝します。滋賀県はボランティア率全国1位  
本年は開校40周年を迎え卒業生も6000人を超えた。  
今後も、地域活動に健康でご活躍願います。

- 7) 議長選出 事務局一任の声をいただき、湖東支部の児玉正孝氏を指名

II. 議事審議

1. 第1号議案 平成29年度事業報告（案） 提案説明（堀江会長・事務局長・各部長）

(1) 活動の総括（会長）

“マンネリ化を脱し、新しい価値観の創造”のもと、29年度の基本方針に掲げた  
地域活動事業・組織活性化事業・広報事業・運営事務事業・自己研鑽事業に、創造性を重んじる視点を加味し次の事業に取り組んだ。その成果と課題について報告が有った。

- ①滋賀県レイカディア大学学長懇談会の開催し、必修講座の聴講などの具体化が出来た。
- ②各々の専門部会で自主性と主体性を重んじた活動が出来たが、新設された地域活動部会については、各支部の財政支援にとどまった。
- ③HP管理班長の後継者養成と発掘については、高い技術の継承には至らず、道半ばである。
- ④男女共同参画を重点課題と位置付けてきた各支部1名の本部理事を目標であったが叶わず

研修部会長を輩出する事が出来た。

- ⑤同窓会の社会的認知度の高揚はHPや会報で実効を得たが、報道機関や行政機関との連携面では十分でなかった。
- ⑥同窓会の法人化については勉強会等を実施したがコンセンサスを得るに至らなかった。
- ⑦会則の改定については平成30年度の組織運営や事業計画立案の整合性を確保するため、会則改定の成案を得た。
- ⑧支部活動の支援については具体案が示せず検討課題が残った。
- ⑨滋賀「縁」認証団体の自覚と活動内容についても共益性、公益性などの自覚も芽生えた。
- ⑩系統外郭団体（サポート隊他）との協調関係の芽生えと協同活動の実践が生じた。

(2) 具体的な活動内容：事業概要を月日毎に所要点を説明（事務局長）

(3) 各部会の活動報告（各部会長）

- ①総務部会：H29年度本部定期総会の開催、学長懇談会の開催結果、必修講座の希望聴講
- ②研修部会：第10回地域活動事例発表会、必修講座の聴講
- ③広報部会：会報大34号の発行、同窓会入会勧奨、紹介パネルの制作、レイ大同窓会HPの更新の活発化、HP用サーバー、ドメインの移行作業の実施
- ④地域活動部会：地域活動の拡大化、地域活動分野における本部のあり方について検討

## 2. 第2号議案 平成29年度収支決算報告及び監査報告（案）提案説明者（森井会計、辻監事）

別添1 平成29年度収支決算報告書及び監査報告参照

\*第1号議案、第2号議案は一括審議の結果、賛成多数で承認を得た。

## 3. 第3号議案 会則の一部改定（案）提案説明（松本事務局長）

今年は全面的な見直しとなった。主な点としては、事務局の新設、部会の統廃合、役員選方法の明確化、外部相談役の設置等々現況業務との整合性を図った。

(改定箇所)・・・別添2参照

- ①第4条（目的）・・・(1)
- ②第5条（事業）・・・(2)(3)
- ③第6条（部局の設置および分掌）・・・(1)事務局、ア、イ、ウ、エ(2)総務研修部会 ウ
- ⑤第8条（役員）・・・1-(4)(8)(11) 2=(1)~(7) 3-(1)(3)(4)(5)
- ⑥第9条（常任理事会および理事会）・・・4
- ⑦第11条（総会への付議事項）・・・(4)
- ⑧第12条（顧問）・・・2
- ⑨第14条（会計年度および事業年度）・・・および事業年度
- ⑩第16条（組織図、役員名簿および会議体）・・・新設

\*質疑応答（質問意見）

Q：提案方法に異議あり（どこがどのように変わったのかを明確にされたい）

今後は補足版を作してほしい

A：提案時間が無かった。改定内容が全員に分かるように議事録で添付する。

Q：「時間が無かった」のなら議案書の事前配布などの対応が出来なかったのか？

A：会則の審議には今後審議方法を十分配慮します。

第3号議案、賛成多数で承認された。

| 4. 第4号議案 役員の変更 (案) | 提案説明 (堀江会長)  |
|--------------------|--------------|
| 会 長 堀江 勇夫 (留任)     | 第30期卒 地域文化学科 |
| 副 会 長 岩田 和男 (留任)   | 第32期卒 陶芸学科   |
| 副 会 長 荻原 正博 (新任)   | 第32期卒 陶芸学科   |
| 事務局長 荻原 正博 (新任)    | 第32期卒 陶芸学科   |
| 会 計 藪 健治 (新任)      | 第35期卒 園芸学科   |
| 監 事 辻 純男 (留任)      | 第30期卒 園芸学科   |
| 監 事 森井 幸三 (新任)     | 第31期卒 地域文化学科 |

\*質疑応答なく第4号議案賛成多数で承認された。

引き続き上記新役員並びに新部会長の紹介が有り新会長の代表挨拶が有った。

5. 第5号議案 平成30年度事業計画 (案) 提案説明 (堀江会長、各新部会長)  
(今年度から新役員からの提案に変更された)

(1)活動の基本方針 “オールレイ大で未来へ向かって<sup>あまかけ</sup>天翔よう”

今年度は新体制が発足した。心機一転、会員および役員一同一致団結し、昨期同様に「地域貢献活動事業・組織活計化事業・広報事業等々重点事業を鋭意進めます。各部会に担当役員制を導入し、下記の事業に取り組みます。

- ①同窓会の社会的認知度の高揚を図るため、広報情報部会・地域活動担当役員を配置し、多面的な取り組みを行う。
- ②会員ニーズの変化に対応して会則の改定・会計処理と予算管理の在り方を見直し、組織運営や事業計画立案の整合性を確保するため、総務研修担当役員を置く。
- ③同窓会の法人成り (NPO 法人・一般社団法人) についても、会長 (担当役員) 主導で精力的な取組を展開する。
- ④ホームページの充実と継続性を維持するために、HP 制作講習会を定期的実施する。
- ⑤サポート隊やレイカディアえにしとの連携を更に強化し、学生募集活動等母校の発展に寄与する。
- ⑥滋賀県レイカディア大学学長懇談会を定例的開催する。
- ⑦専門部会長は担当役員と意思疎通を図り、会長方針を踏まえて積極的に事業を企画立案する。
- ⑧男女共同参画組織の定着については、今期も重点課題と位置づけ、女性会員の活躍の場を促し発掘する。
- ⑨支部活動については、支部の主体性を尊重しながら、基本構想については本部方針・会則・規約

を踏まえたものとなるよう期待する。

⑩滋賀県レガティア大学同窓会の特異性に鑑みて、活動計画の全般に亘って共益性・公益性・持続性を、更に本会への入会促進性を盛り込んだものとする。

(2) 各部会の活動計画

【総務研修部会】(長谷部部会長)

①平成 30 年度本部定期総会の開催

②修講座の聴講

a.草津校、米原校各々で(1回/年)開催

b.必修講座希望者有料聴講

試行実施:30年4月~7月(1回/月)4回実施(草津校のみ)

本格実施:試行実施結果を踏まえ、10月から本格実施予定(米原校での開催を協議)

③学長との懇談会の開催

1回/年を目標とする。

【広報情報部会】(中山部会長)

①會報 35 号記念号の発行

②同窓会入会案内書の作成・・・同窓会入会説明会の開催・大学祭に支部活動パネルの展示

③新任HP担当者への対応・・・HP作成講習会の開催・HP管理班長業務の平滑化

④HP運営の維持対策・・・HP管理副班長体制の施行・HPビルダーソフトに充実他

【地域活動部会】(奥田部会長)

①地域活動の継続と拡大化・・・コスモ、クリーンキャンペーンへの参加

「美しい湖国をつくる会」への活動参加・各支部との連携強化

②「第 11 回地域活動事例発表会」の開催・・・11 月開催予定

6. 第 6 号議案 平成 30 年度収支予算書(案) 提案説明(藪会計)

別添 3 平成 30 年度収支予算書(案) 参照

\*第 5 号議案、第 6 号議案は一括審議の結果、賛成多数で承認を得た。

総会議案審議はすべて終了し、議長は退任、降壇。

7. 閉会の言葉 岩田副会長 (総会終了 14 時 30 分)

Ⅲ、記念講演 14 時 40 分~16 時 00 分

演 題 『公証人の目から見た日本』

講 師 長浜公証人役場 公証人 井内 省吾氏

・公証人の仕事 ・公証人の目(遺言、財産分け、家と親族、成年後見制度・・・)

・日本と外国(フランス)の違い ・日本の今後についての懸念